

第19回沖縄科学技術研究基盤整備機構分科会 議事要旨

沖縄振興局総務課事業振興室

日 時：平成22年8月17日（火）14：00 ～ 16：50

場 所：中央合同庁舎4号館 共用第3特別会議室

出席委員：平澤分科会長、遠藤分科会長代理、伊集院委員、長岡委員

議事概要

1. 沖縄機構からの補足説明

沖縄機構より以下の項目について補足説明があった。

① ブレナー博士ユニットの評価

バックマン理事よりブレナー博士の研究内容及びその評価について、説明があった。

② 学長予定者の選定手続き

バックマン理事より人材調査会社の選定過程等について、説明があった。

③ 施設整備に関する予算執行問題

ディキソン施設・建設部長より予算の前倒しの効果について説明があった。委員からのコメントは以下の通り。

○ 当初予定されていたラボ1・2・3のトータルの予算と前倒しした際のトータルの予算を比較して、どれだけ節減になり、前倒しの効果があったのかという比較したものを示してほしい。

④ 監事監査について

勝野監事より監事監査について、補足説明があった。委員からのコメントは以下の通り。

○ 監事から理事長・理事等への口頭発言について実績を示す書類及び発言に基づく改善状況がわかる資料を提出してもらいたい。

⑤ その他委員のコメント

一般論として、外部委託については、委託の質が保たれていないケースが多い。外注するにしても丸投げはしないでほしい。良い業者を選べるようなスキルがほしい。

2. 平成21年事業年度財務諸表

意義なし。

3. 平成21年度事業年度業務実績

（1）項目別評価表

○項目1～7（研究評価について）

分科会において、機構の評価内容の評価をするものではないが、機構においては、在籍した5年の実績に基づきながら次の5年に実績が出るような研究かという基準で評価しているものと認められ、理解できる。

○項目16・17（学長選考について）

設立委員が中心となり、多くの人材調査会社候補の中から1社を選定しており、手続きもしっかりしているので、Aでよいのではないか。

○項目27～29（監事監査について）

項目27－29の評価については、結論を先送りし、監事からの提出資料を受けて親会の前に評価を確定する。

○項目30（外部資金について）

資金獲得の目標額が物足りない。A判定だが、コメントに目標設定額が低い旨は明記する。

○項目35（施設整備について）

第二研究棟の整備が予定通り進んでいないのでB判定。

○項目44（事務局体制について）

22年度になって重要なポストに人が採用され、体制が整備されたことは評価できるが、21年度の評価はB判定。

○項目49（安全で働きやすい環境の整備）

国会審議においてパワーハラスメントに係る指摘が行われた。従来、ハラスメントの防止について、十分な措置がとられていたとは言い難いことからC判定。

（2）総合評価表

今回の項目別評価を受け、項目別評価表と整合性をとるためにも書きぶりを若干修正する必要がある。事務局と分科会委員で連絡を取り合いながら内閣府評価委員会までに修正する。

4. その他

中村室長より今後の開学についての流れについて説明。

以上